

事例報告用紙等の記載について ～記載のポイントや留意点～
【空欄がないように記載してください】

1. 記載する際の注意事項

- ◆地域名や施設名、事業者名は、他の人が特定できないように記載してください。
例) 横浜市東戸塚地域ケアプラザ → 〇〇地域ケアプラザと記載
神奈川県横浜市出身 → K県出身
- ◆日時等の表記については、下記のとおりに記載してください。
例) 平成24年ごろ、階段で転倒し骨折 → 8年前に、階段で転倒し骨折
※「平成」や「昭和」などの年号は記載しないようお願いいたします。
- ◆事例対象者は、アルファベットで「A」「B」などの表現で記載してください。（イニシャル）

2. 事例報告用紙①（A3見開き資料）の記載ポイント

	項目	記載していただきたいこと、留意点など
【1】事例選定に関する項目	本事例の実践テーマ	説明書「テーマ表」から、メインとなるテーマを1つ選んで記載。 記載例) 社会資源の活用、認知症、リハビリテーション及び福祉用具 等
	関係のあるテーマ	説明書「テーマ表」から、メイン以外に関係のあるテーマを2つ以上選んで記載。
	事例のタイトル	提出事例にタイトルを付けてください。 事例の特徴や課題等が明確になります。
	CMとして関わった経過（これまでの経過）	どのような経過でCMとして担当をするようになりましたか。 例 5年前、〇〇病院のMSWから紹介 ※受講者自身が、例えば「前任者からの引継ぎ」で担当することになった場合でも、この事例対象者が「なぜ介護保険の申請が必要になったか」ということを記載してください。
	選定・提出理由	選定条件に基づき選択されたと思いますが、選んだ理由は何ですか？
	提出ケースに関して、次の3項目について記載下さい。	① このケースの援助方針はどのようなものですか。 ② 担当者として本ケースのマネジメントプロセスでの困難性や課題は何ですか。 ③ 支援機関や事業所などと連携するうえでの課題は何ですか。
	現在利用しているサービス状況	現在利用している「サービス」について記載。 記載例) 訪問介護（週3回）、デイサービス（週2回） など
サービス担当者会議の要点	このケースの「サービス担当者会議」を開催した際に、意見交換した内容を整理して要点を記載。	
【2】基本情報に関する項目	保険・他法情報	生活保護の有無、障害者施策等他法関係、医療費補助（難病疾患等）の利用 など
	要介護度、日常生活自立度	このケースの「要介護度」、「障害高齢者の日常生活自立度」、「認知症である高齢者の日常生活自立度」を〇で囲んでください。
	生活歴（職歴・趣味等）	出生地や職歴、結婚や子どもの有無、親族等死別離別など簡潔に記載。現在の趣味や交友関係も記載。※事例対象者の「ひととなり」がわかる重要な項目です。明確に記載してください。
	主訴	「利用者本人の要望」と「家族（関係者）の要望」を分けて記載。誰の考えなのかを明確に。又確認困難な場合はその旨記載のこと。

	利用者の家族構成 主たる介護者	利用者の世帯状況について記載。記載例) 本人、妻、長男の3人家族 主たる介護者: 記載例) 利用者の妻、長女(別居)
	家族による介護の 状況	本人に対して、家族(親族等)がどのような介護をしているか、また、ご 家族等の健康状態、就労状況について、詳細を記載。
	経済状況・その他 特筆すべき事項	本人及びご家族の経済状況について、また特筆すべき事項について記載し てください。介護保険利用者負担割合(1割か2割か)も記載。
【3】医療に関する項目	既往歴/障害/ 現疾患/投薬状況	既往歴: <u>現状生活に影響のある病気や入院手術などは記載してください。</u> 記載例) 3年前に骨折による入院(2週間程度) など 障害名: 診断されている障害名を記載 現疾患: 現在の病気、治療の有無と通院状況 投薬状況: どのような薬が処方されているか。記載例) 降圧剤 ※不明な場合は、わかる範囲で記載してください。
	医療機関への受診・ 入院・通院状況	主たる疾患については、現在の通院状況や入院歴を記載
	健康状態 (身体及び精神症 状、投薬状況など)	身体および精神症状: 認知症等の中核および周辺症状、その他の神経症 状など。 他にも、視力や聴力の状況、眼鏡や補聴器利用の有無、日々の生活での会 話や意思疎通、記憶や理解力は、全く問題ない、日々不都合がある、混乱 しているなど具体的に記載。問題行動についても、有無と、ある場合の 内容や頻度を記載してください。
	主治医の意見	主治医意見書に書かれたことをまとめ、ポイントを記載してください。
【4】アセスメントに関する項目(抜粋)	アセスメントの項目は、「自立・見守り・一部介助・全介助」や「支障あり・支障なし」等の 状況を記すとともに、どのような支援が必要かを詳細に記入してください。	
	移動	室内や屋外の移動について、「自立・見守り・一部介助・全介助」等の状 況を記すとともに、どのような支援が必要か、
	食事	食事内容に支障があるか、食事摂取について「自立・見守り・一部介助・ 全介助」等の状況を記載。また調理についても自分でできるのかなど
	排泄(便/尿)	排泄状況を便・尿分けて記載する。(例: 間に合わず衣服を汚すことも) 尿意・便意の有無、福祉用具を利用しているか。
	金銭管理	誰がどのように管理しているか。 記載例) 小銭は自分で管理できるが、大金は娘が管理。
	コミュニケーション能力	何か困難なのか(認知の有無、理解と発信の状況)
	社会との関わり	ご近所づきあい、町内会行事や老人会、地域のサロンへの参加など
	介護力	本人の生活をサポートする家族等の介護力を記載。 記載例) 子どもの孫も仕事をしているので週1回の訪問のみ。介護力と しては弱い。見守り体制を検討等
居住環境	本人の居住している自宅(戸建て・マンション)の周辺状況について教え てください。 記載例) 家の目の前に急な坂道、最寄り駅まで坂道を上って5分 等	

3. 事例報告用紙②(A4資料)の記載ポイント

ジェノグラム、エコマップについては、【参考資料1】マッピング技法、エコマップの例を
参照の上、記載してください。

住宅の見取り図は、本人の居住スペースについて、【参考資料2】住宅の見取り図記載例を
参照の上、記載してください。

住環境について、①～⑦についてポイントを記載してください。

記載例) ①居室→2階だったが、1階の和室にした。 ④浴室→手すりはまだつけていない。